

2022年9月8日

プレスリリース

中小企業向け事業保険のエヌエヌ生命 建設業を経営する全国の中小企業経営者 1,100 人に調査 ～ 半数以上が「事業承継」で経営者に。後継者候補とは「話し合いたい」が最多 ～

生命保険を通じて日本の中小企業を応援するエヌエヌ生命保険株式会社（代表取締役社長：マリウス・ポペスク、本社：東京都渋谷区、以下「エヌエヌ生命」）は、建設業の中小企業経営の実態を把握するため、8月上旬に全国の建設業の中小企業経営者※1,100名を対象とする調査をおこないました。

※本調査では、従業員300人未満の規模の「会社経営者（社長、会長、取締役）」、または「従業員のいる自営業者」を中小企業経営者と定義しています。

＜調査結果まとめ＞

1. 建設業の会社経営者になったきっかけは、「事業承継」が半数以上（55.6%）で「起業」（44.4%）を上回る。「事業承継」のなかでは「親から」の事業承継が最も多く約7割（69.0%）。
2. 事故や病気などで経営の継続が難しくなった場合の法人代表者について、「決めていない・わからない」が6割超（64.2%）。次いで、「子どもや配偶者などの親族」と回答したのは約2割（21.4%）。
3. 自身が経営の継続が難しくなった場合のことについて、後継者候補と「話し合ったことはないが機会があれば話し合いたい」の回答が最も多く42.9%。次いで「話し合ったことがある」の回答は38.8%。

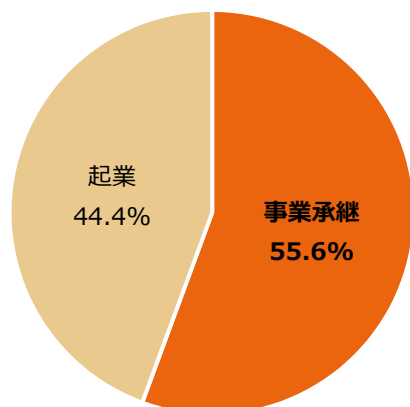
＜調査結果詳細＞

（1）建設業の会社経営者になったきっかけは、「事業承継」が半数以上（55.6%）で「起業」（44.4%）を上回る。「事業承継」のなかでは親からの事業承継が最も多く約7割（69.0%）。

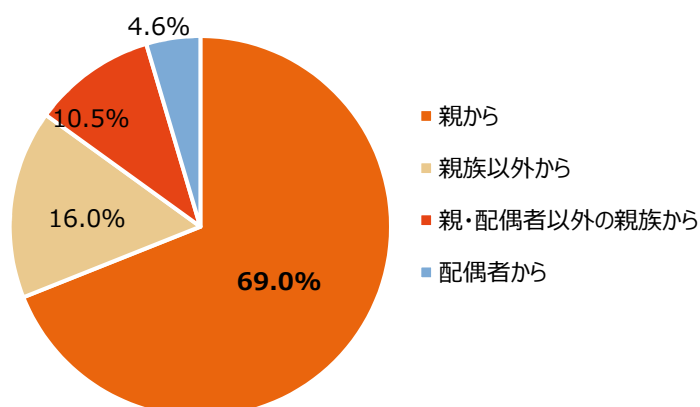
建設業の中小企業経営者1,100名に、会社経営者になったきっかけについて聞いたところ、「事業承継」が半数以上（55.6%）で、「起業」を上回る結果となりました。

さらに、「事業承継」と回答した612名について誰からの事業承継か内訳を見てみると、約7割（69.0%）が「親から」の事業承継と回答し、最も多い結果となりました。次いで、「親族以外から」の事業承継が16.0%でした。

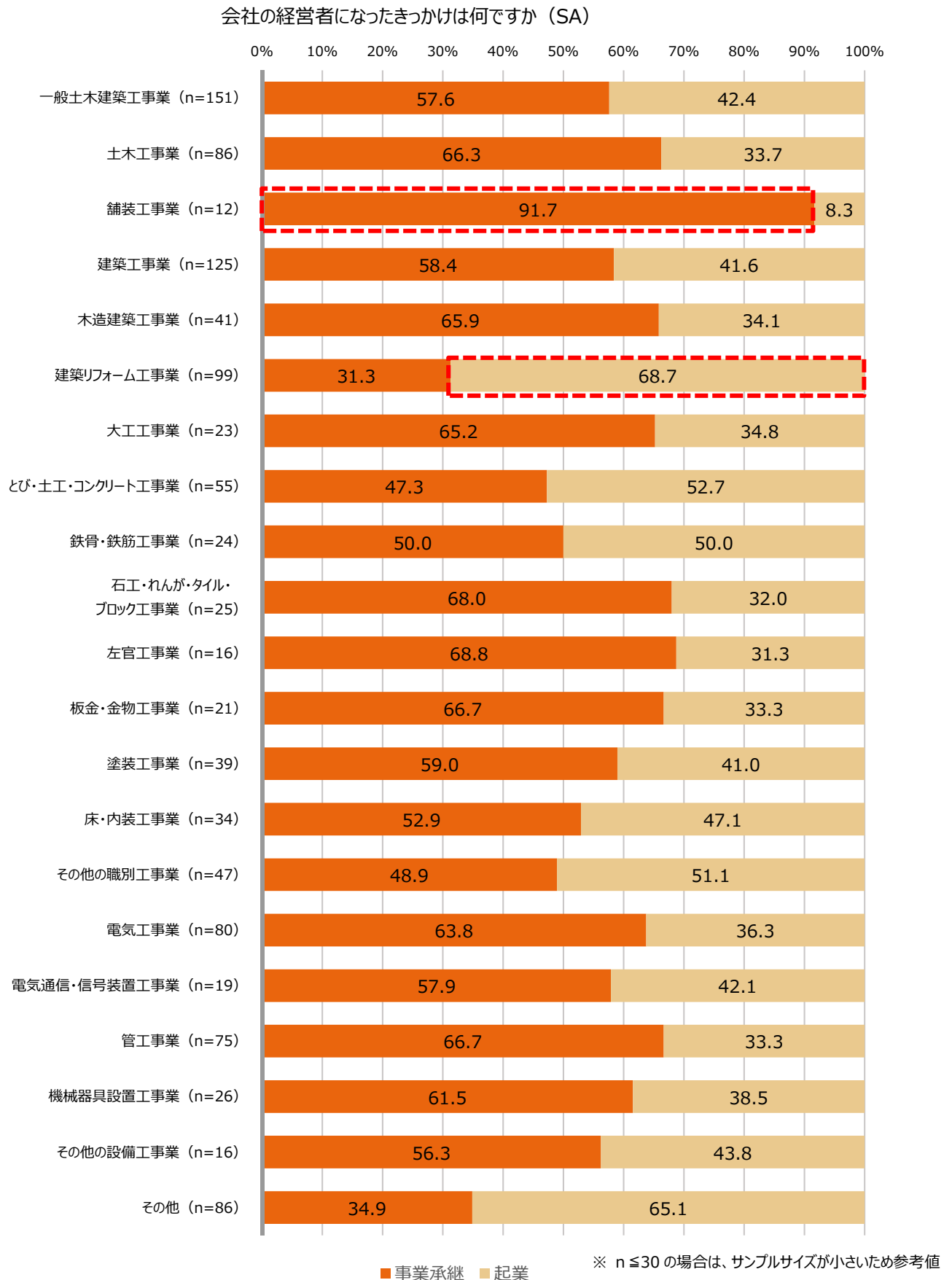
会社経営者になったきっかけは何ですか
 (n=1,100, SA)



会社経営者になったきっかけは何ですか
 「事業承継」と回答
 (n=612, SA)



また、建設業の会社経営者になったきっかけについて総務省分類に基づいた事業詳細別に見ると、「事業承継」の回答率は「舗装工事業」（91.7%）※が最も高く、「起業」の回答率は「建築リフォーム工事業」（68.7%）が最も高い結果となりました。

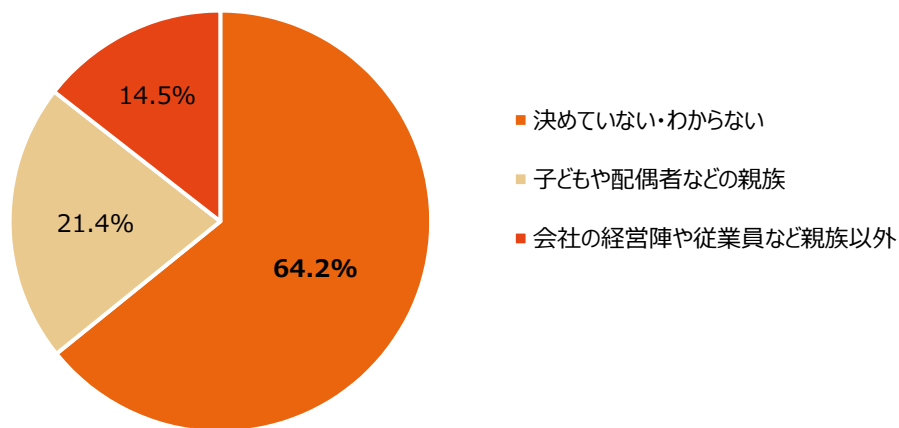


(2) 事故や病気などで経営の継続が難しくなった場合の法人代表者について、「決めていない・わからない」が 6 割超（64.2%）。次いで、「子どもや配偶者などの親族」と回答したのは約 2 割（21.4%）。

建設業の中小企業経営者 1,100 名に、事故や病気などで経営の継続が難しくなった場合の法人代表者を決めているか聞いたところ、「決めていない・わからない」が最も多く 64.2%でした。

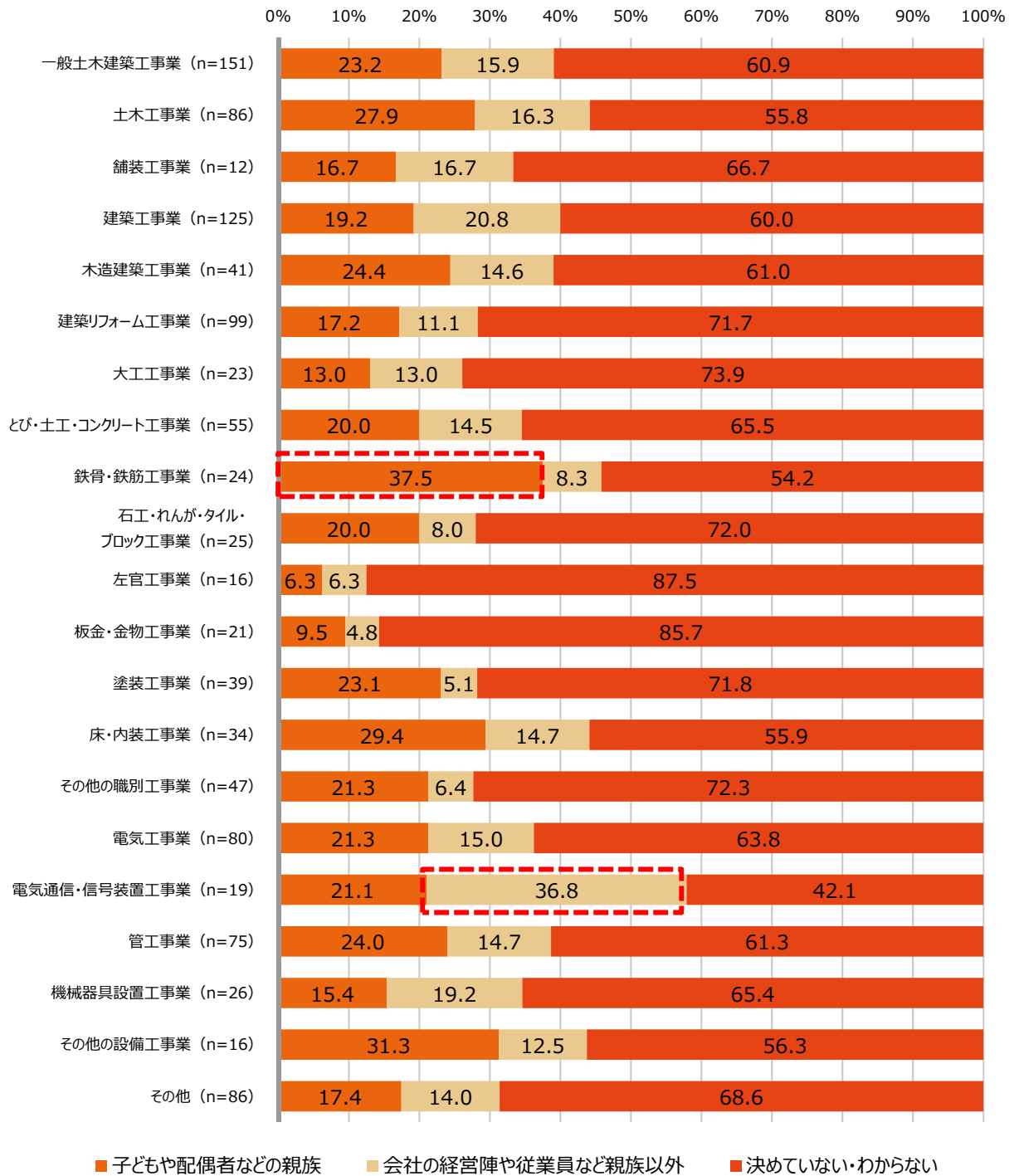
次いで、「子どもや配偶者などの親族」と回答したのは約 2 割（21.4%）で、「会社の経営陣や従業員など親族以外」は 14.5%でした。

ご自身が経営する会社について、
あなたが事故や病気などで経営の継続が難しくなった場合、
誰が次の法人代表者を務めるか決めていますか
(n=1,100、SA)



また、事故や病気などで経営の継続が難しくなった場合の法人代表者を決めているかについて、総務省分類に基づいた事業詳細別に見ると、「子どもや配偶者などの親族」の回答率は「鉄骨・鉄筋工事業」（37.5%）が最も高く、「会社の経営陣や従業員など親族以外」の回答率は「電気通信・信号装置工事業」（36.8%）※が最も高い結果となりました。

ご自身が経営する会社について、
あなたが事故や病気などで経営の継続が難しくなった場合、
誰が次の法人代表者を務めるか決めていますか（SA）



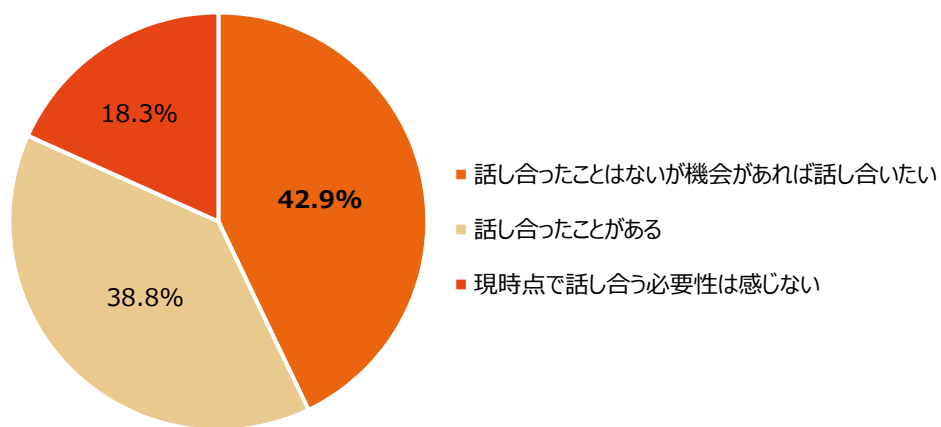
※ n ≤ 30 の場合は、サンプルサイズが小さいため参考値

(3) 自身が経営の継続が難しくなった場合のことに、後継者候補と「話し合ったことはないが機会があれば話し合いたい」の回答が最も多く 42.9%。次いで「話し合ったことがある」の回答は 38.8%。

後継者候補を決めていると回答した建設業の中小企業経営者 394 名に、後継者候補と自身が経営の継続が難しくなった場合のことに、話し合ったことはあるか聞いたところ、「話し合ったことはないが機会があれば話し合いたい」が最も多く 42.9%でした。

次いで「話し合ったことがある」と回答したのは 38.8%の一方で、「現時点で話し合う必要性は感じない」は約 2 割 (18.3%) でした。

ご自身が経営する会社について、後を継ぐ法人代表者（候補）に対して、
ご自身が経営の継続が難しくなった場合のことに、話し合ったことがありますか
(n=394、SA)



【調査概要】

調査対象：日本全国の建設業の中小企業経営者

※従業員 300 人未満の規模の会社経営者（社長、会長、取締役）または従業員のいる自営業者

なお、建設業の事業詳細は総務省「日本標準産業分類」を元としています

サンプル：全国 1,100 名

調査方法：インターネット調査

調査会社：株式会社マクロミル

実施時期：2022 年 8 月 5 日～8 月 8 日

※回答結果はパーセント表示を行っており、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、各回答の合計が 100%にならない場合があります。

本件に関する問い合わせ先（報道機関用）

エヌエヌ生命保険株式会社 広報部 原、片山

TEL: 03-6892-0523 Email: ML-IL-JP-CCA@nnlife.co.jp

株式会社ブラップジャパン 安本

TEL: 080-9815-9166 Email: nnlife@prap.co.jp

エヌエヌ生命は、オランダにルーツを持ち、175 年におよぶ伝統を誇る NN グループの一員です。NN グループは欧州および日本を主な拠点とし、11 カ国にわたり、保険事業、年金事業、銀行および投資業務を展開しています。その名は、源流である「ナショナル・ネーデルランデン」に由来しています。エヌエヌ生命は、1986 年に日本で初めてのヨーロッパ生まれの生命保険会社として営業を開始して以来、30 年以上にわたり、中小企業の“大切なもの”を共に守る商品やサービスをご提供しています。